

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法 人 名	(株) ニチイ学館	法人・事業所 の特徴	その方の暮らし、生活を支援する在宅系介護サービス（居宅支援事業所・訪問介護事業所）、居住系介護サービス（小規模型居宅介護・グループホーム）のトータルサービスを展開しております。その中でも小規模多機能型居宅介護の特性として、通所・宿泊・訪問サービス柔軟なサービスを心がけ、在宅生活の支援はもちろん御家族様の心身の負担軽減、急な宿泊・施設入居までのサポートを行っております。地域のボランティアの方の受け入れ、畑にて家庭菜園、地域との関わりを持ち、地域行事に積極的に参加し共同しながらサービス提供に努めています。
代 表 者	代表取締役社長 森 信介		
事業所名	ニチイケアセンター苫小牧		
管 理 者	近藤 香寿美		
実 施 日	令和 7 年 1 月 29 日		
報 告 日	令和 7 年 3 月 27 日		

実施日の 出席者	苫小牧市職員	地域包括支援 センター職員	町内会役員	民生委員	利用者家族	その他	事業所職員	合計
	1 人	1 人	3 人	1 人	2 人	3 人	15 人	26 人

前回の目標	取組み内容
仕事や家庭・育児や家族介護等と両立しながら働ける協力体制を作り、働き甲斐のある職場環境作りを行う	①一緒に働く仲間が紹介できる環境を築き、人材が充足まではいたらないが、人材不足ではなかった ②人間関係に悩まずに働き易く、しっかりと休日取得出来るような勤務体制のシフト作成を心がけてはいたが（夜勤明け休みや連休等）、その日の職員の配置やバランスにより変則なシフト組になってしまったこともあった。 ③家族等の介護休暇取得、産休・育児休暇取得、保育園等の休園や学校の休校等に伴う休み対応、全職員有休5日以上、夏季休暇3日、毎月シフト作成前に休みの希望休を導入継続し取得を行うことが出来た。
津波・地震際を伴う訓練、全職員が防火時に慌てず、混乱することなく行動出来るようにする。町内会、地域での災害訓練にも参加し、慌てずに行動できる。	①年2回以上の防火訓練の実施と職員研修の実施を定期的に行う事出来た。 ②全職員が防火訓練を実施・参加出来るように計画し実施した。 ③地域の災害訓練に参加し、地域との連携の継続を行い、地域訓練にも6名（職員2名、利用者4名）参加した。実際に起きえた時に迷うことなく行動できるようにして行きたい。 ④BCPの計画策定を行い全職員が把握するように努めたが、なかなか内容の把握にまで至らなかった
感染症や緊急時の研修を継続し、混乱することなく全職員が把握し行動できるようにする。	①緊急時の対応の研修と整備を行い、全職員把握に努めた。 ②感染症の研修を常に行いながら、感染予防に努めた、全職員が自主的にに対応できるように出来た。 ③管理者・看護師が主導となり、BCPの計画策定と全職員が把握できるように努めた。
本人・御家族の思いを汲み取りながら、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、小規模多機能型の特性を生かしたサービス提供を行う	①自宅での生活が継続できるよう分析・提案、サポートを行い、ご本人、御家族を支えられるように柔軟なサービス対応が行えるよう心掛け、おおむね対応出来た。 ②その方が住んでおられる地域の地域包括支援センター、地域の方々との連携を図り、御本人の支援、御家族のサポートも心がけるように努め、柔軟な対応、他関係機関と情報共有・協力し合えた。
今回の目標	取組み内容(予定)
仕事や家庭・育児や家族介護等と両立しながら働ける協力体制を作り、働き甲斐のある職場環境作りを行う。職員採用3名、退職者無しを目指す	①一緒に働く仲間が紹介できる環境を築き、人材の充足を図り5名の採用を出来るようにする ②人間関係に悩まずに働き易く、しっかりと休日取得が出来、疲労を残さず働けるような勤務体制のシフト作成を心がける。 ③家族等の介護休暇取得、産休・育児休暇取得、保育園等の休園や学校の休校等に伴う休み対応、全職員有休5日以上、夏季休暇3日、毎月シフト作成前に休みの希望休を導入継続し取得を行うことが出来るようにする
津波・地震際を伴う訓練、全職員が防火時に慌てず、混乱することなく行動出来るようにする	①年2回以上の防火訓練の実施と職員研修の実施を定期的に行う。 ②全職員が防火訓練を実施・参加出来るように計画し不安を取り除けるように訓練する。

地域・地域际をITノ訓練、主職員が防へ時に流へ、把握へることなく行動出来るようにする。町内会、地域での災害訓練にも参加し、慌てずに行動できる	③地域の災害訓練に参加し、地域との連携の継続を行い、地域訓練へ継続的に参加 ④BCPの計画策定を行い全職員が把握するように努め、計画の定期的な具体的見直しを行う。
感染症や緊急時の研修を継続し、混乱することなく全職員が把握し行動できるようにする。	①緊急時の対応の研修と整備を行い、全職員把握に努める ②感染症の研修を常に行いがら、感染予防に努め、全職員が自主的に対応できるように出来るようにする。 ③BCPの計画策定と看護師が主導し全職員が把握できるように努める。
本人・御家族の思いを汲み取りながら、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、小規模多機能型の特性を生かしたサービス提供を行う	①自宅での生活が継続できるよう分析・提案、サポートを行い、ご本人、御家族を支えられるように柔軟なサービス対応が行えるよう相談しやすい関係づくりを継続。 ②その方が住んでおられる地域の地域包括支援センター、地域の方々との連携を図り、御本人の支援、御家族のサポートも心がけるように努め、柔軟な対応、他関係機関との関係構築の継続。

【設問の評価について】

○：はい
×：いいえ
△：わからない

【地域かかわりシート評価結果】

設問			評価	意見等
自己評価の確認	1	事業所自己評価は、スタッフの意見を反映し実施されているか。	○	・良い点も悪い点も両方反映されている。 細かいところまで職員の意見を聞き反映させている。
	2	前回の改善目標に対して、具体的な取組みが行われていたか。	○	・運営推進会議においても、その都度報告されている。
	3	今回の自己評価に対する改善目標が1つ以上立てられているか。 (改善目標の内容について事業所から説明があったか。また、改善目標がない場合は自己評価内容と比べてそれが妥当であるか。)	○	・運営推進会議においても報告があり、妥当だと思う。 ・目標が昨年同様だが、不安等もあり、足りない部分も含め同等の目標となったとの報告を受けている。
事業所の様子	4	事業所内や周囲の環境は清潔な状態が保たれているか。 (不快な臭い等はないか)	○	・清潔感を感じる・明るく清潔な印象が持てる
	5	事業所内は居心地のよい空間になるよう工夫されているか。 (明るさ、装飾、生活音等に配慮がされているか。)	○	・施設内も明るく、職員も笑顔が見られ雰囲気も明るい。 季節感のあるポスターが月別に張り替えられている。 前からみると改善しながら取り組んでいる姿勢が見える。
	6	事業所は訪問しやすい雰囲気になっているか。 (外観的工夫、内部での対応等が適切であるか。)	○	・訪問するとすぐに対応してくださります。 ・訪問しやすい雰囲気です。
連携・共同	7	運営推進会議では、事業所の取組みが解りやすく説明されているか。 (資料等はわかりやすいものになっているか。)	○	・もっと家族の参加あるとよいと思います。
	8	運営推進会議で出た意見等を改善につなげているか。	○	・運営推進着会議にて報告を受け改善につなげており、取り組んでいることがわかる。
	9	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画しているか。	○	・毎回利用者さんと参加させている。訓練を通じて身につくようにしていく良いと思う。
	10	事業所のスタッフ及び利用者は、地域の行事やイベントに参加しているか。または、参加状況について報告等を受けたことがあるか。	○	・町内会、スタッフ、利用者が果物狩りに参加していただいております。楽しんでもらっています。町内会主催の行事には積極的に全部参加している。
	11	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所は関わっているか。	○	・地域からの相談も受けている。(地域の方の情報を包括へ提供し情報共有をしている) ・△関わっているかどうかまで把握できていない(2名)
	12	事業所に対する意見や要望等を伝えやすい関係が構築されているか。	○	・話しやすい、いつでも相談しやすい関係となっている。

【その他意見等】

- ・特に出来ていない点が無いため、なぜB評価なのか、課題があるのであれば教えていただきたい。⇒自己評価のB判定は80%出来ている、概ねできているという評価にて自己評価した。
- ・厳しく評価し向上心があるのは良いことだが、自信を持ってほしい。
- ・包括の活動についても理解をしていただいております、認知症に関する普及啓発や地域活動にも協力していただいている。
- ・毎月発行されているマルチサービス通信、とてもいいです。
- ・居心地良い空間で穏やかに過ごしている利用者さんの表情を見てとても努力されている職員の方々に応援エールを送りたいと思います。